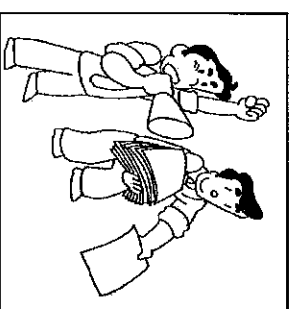


# 全国 検数労連

693号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日  
 港福会館 5階  
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622  
 メール roren@kensu.jp  
 ホームページ http://www.kensu.jp/  
 全国検数労働組合連合  
 書記局



## 2022 組織力の発揮で大幅賃上げ！ 春闘勝利 暮らしと平和を守ろう！



### 【北海道検数労連 22春闘地区要求書提出】

3月4日(金)北海道検数労連として、当該支部西協会に対し、当該支部西協会に対し、左記の通り人員不足の解消を第一義課題とした労働条件改善要求書を提出しました。

今回の要求内容は、当該地区で働く組合員からあがっている『機率的な人員不足の解消』をはじめ、西協会同僚での交渉を始めてから今日までの間に解決に至らず山積している課題の解消に向けた要求となっております。

検数労連中央本部としては、職場諸要求等の解決には検数労連の

### 北海道検数労連 要求書

1. 西協会は従業員の意見である人員不足の解消に向けた魅力ある労働条件・環境を構築するべく、北海道の経営責任者として本部にはたらしめなければならない。
2. 長時間労働の解消や休日取得について企業内で最大限努力するとともに、企業努力では解決が困難な事案については、両協会の共同作業の検討、また共同での顧客に対する申し入れをおこなうこと。
3. 全日検北海道事業所においては、安全衛生関係の取り組みを毎月開催するとともに、諸課題の解決に向けた労使協議を迅速かつ精力的に行うこと。
4. 日検協会においては、地域職員採用に向けた取り組みを地域労使間で協議するとともに、日検協会本部に対して地域の意見を伝えること。

以上

収受が必要不可欠であるこの考えから、22春闘では経歴差別・中東地区労使が一体となった取り組みが必要であり、各地域との連携を強化して22春闘での組織力を強化していきます。

### 【京王新労組 24 hrs 上支援行動】

3月10日(木)組合攻撃とたたかっ建交労・京王新労組が大幅賃上げを勝ち取り、安心して暮らせる社会の実現、長時間労働是正を求めて24hrsに入りました。

同日11時から開催された京王電鉄本社前集会に検数労連から石橋副委員長・石渡書記次長・日検労中央から柳原中執が支援に駆けつけました。

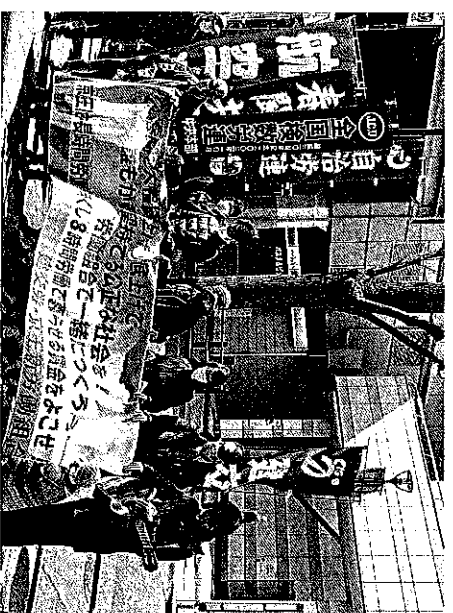
### 【検数労連中四国支部 22春闘オランダ開催】

3月4日(金)検数労連中央から石橋副委員長・光部書記長を講師に招いて22春闘前進、組織強化をテーマに約1時間にわたって学習会を開催しました。

今回の学習会はコロナ感染予防の観点から検数労連事務所を起点としたオンラインによる春闘学習会と中四国執行部および各分会役員(広島、徳山、福山、水島、四国)から計12名の参加となりました。

学習会では、光部書記長が22春闘の流れや要求前進に向けた組合の考えなどの説明、石橋副委員長からの組織強化、拡大に向けた職場での取り組みや企業内課題につ

京王バスでは、第2組合が労組の役割を放棄し、従業員の多事で評価する罪悪感で危険な制度の導入や、賞金



引き下げ、スト破りなど、ただかつ労働組合への攻撃が行われてきました。京王新労執行部は「我々は会社いなの労働組合ではなく、国民、労働者の声をもちつてストライキに立ち上がった。報復があるかもしれないが、負けるわけにはいかない。コロナ禍だからこそ声をあげよう」と力強く決意を表明しました。

支援に駆けつけた全労連布施事務局長は連帯のあいさつでロシアのウクライナ侵攻に触れ、『世界の労働者が連帯の声をあげ講義している。医療・介護労働者のエッセンス・シャルナー、公共サービス・公共交通従事者仲間もだ。国民の生活を支える大事な機関』と24hrsと決行の京王新労

いての説明を受けました。学習会での協調点として春闘要求では「国民



組織による経歴差別への結集」「国民的諸課題と春闘要求との係わり」「組織強化では「組合日常活動の見える化が要求を前進させる」「機関紙発行の重要性」「学習会として組織強化はな

い」などが強調されました。参加者からは「次回の学習会では若手組合員を積極的に参加させる」「良い経験になった」「産別結集への意義」「指定事業体問題について」「組合説明会での効果的なアドバイスなどの発言があり、22春闘前進に向けた行動や今後の組織強化への理解を深めることができました。中四国支部としては、引き続き、執行部が先頭に立つて職場から多数の意見や不満点をしっかりと聞き入れながら職場環境の改善に向けて頑張る決意です。

検数労連 中四国支部 書記 長 小川 正訓